

2025 年度 10 月 栃木県生協連 定例報告

1. 機関会議等

● 10月 7日(火) 第3回 定例理事会

【議決事項】

第 1 号議案 「2026 年度会員会費」 承認の件

第 2 号議案 専決事項 承認の件

・「とちぎコープフェスタ in うつのみや 2025」後援依頼の専決

第 3 号議案 県連事務所移転 承認の件

【協議事項】

(1) 栃木県くらし安全安心課との意見交換会ふり返り

【報告事項】

(1) 「月度の定例報告」及び月次決算報告

・とちぎ消費者カレッジ報告

(2) 日本生活協同組合連合会中央地連報告

(3) ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金参加についてのお知らせ

(4) 会員報告

次回：第 4 回定例理事会 12 月 23 日 (火) に変更

● 10月27日(月) 第3回 くらし部会

10 月 30 日(木)開催予定の「くらし部会学習会」と第 2 回くらし部会学習会について話し合いを行いました。また、10 月 16 日(日)に開催した「第 20 回うつのみや食育フェア」について、感想や良かった点、次年度に向けた検討すべき点等、意見交流を行いました。

● 10月30日(木) くらし部会 学習会

■講 演：「対馬丸事件を知っていますか～学童疎開船撃沈の悲劇・戦後 80 年～」

■講 師：上野 和子 氏

実際に対馬丸に乗船し、学童たちを引率していた先生の体験話を、長女の上野和子氏より伺いました。実体験された母の思いを書き残したノートにふれ、改めて戦争の悲劇を痛感する講演となりました。



2. 行政関係

● 10月 8日(水) 令和7年度食品安全消費者教室

宇都宮市保健所で開催、本年は「フタバ食品」の講演で、フタバ食品が取得している HACCP、ISO22000、FSS022000 について、それぞれの違いや一般衛生管理、喜連川工場で製造している商品について、説明がありました。また、宇都宮市保健所より、栃木県と宇都宮市内の食中毒発生状況について、事例報告や食中毒の発生理由、対策について説明がありました。



- 10月9日(木)第2回栃木県次期プラン策定懇談会 安全・安心部会 (参加委員:江波戸アドバイザー)

県次期プラン策定懇
 防災に建設人材
 確保盛り込む
 県の次期重点戦略(2026～30年度)について有識者らの意見を聞く県次期プラン策定懇談会は9日、防災や防犯などについて重点的な取り組みを検討する「安全・安心」部会の第2回会合を県庁で開いた。執行部は、建設業の人材確保と育成を次期プランに盛り込む考えを明らかにした。建設業は防災にも資する社会資本整備に欠かせない一方で、人材不足が深刻化している。執行部はこの日、県内高卒者に占める建設業の就職者割合を成果指標とする案を提示。委員から「なぜ高卒者に限るのか」と疑問が呈され、再度検討する意向を示した。

他の項目についても、重点的取り組みと成果指標が一致しないとして、改善を求める意見が出た。

2025.10.10 下野新聞

- 10月19日(日) 第20回うつのみや食育フェア

宇都宮駅東口「ライトキューブ宇都宮」「宇都宮ライトヒル」を会場に、(一部)屋内の展示イベントが開催されました。展示ブースは「実行委員会主催事業」「体験・学びブース」「地産地消ブース」「宇都宮市主催事業ブース」「宮っ子食育応援団ブース」に分かれ、多くの来場者が訪れました。

展示ブースで展示・説明となりました。参加者の説明により、準備した約440枚の食育クイズと景品の配布は13時40分で終了となりました。食育フェア終了時間までの残り時間に訪れた10組前後の方には、展示パネルを使って説明を行いました。

今回、統一テーマを設けたことにより、参加者からは「団結した一体感を感じられた」「年齢別に分かれたパネルのおかげで来場者に合わせた説明をすることが出来た」等、良かった点が多く挙げられました。その反面、「説明に時間がかかり過ぎた」「景品は家族でクイズに参加される方もいるので、クイズの枚数と同じではなく見直しが必要」等の改善意見もありました。



- 10月20日(月) 第3回栃木県農政審議会 (参加委員:三輪理事)

次期「2026-2030栃木県農業振興計画」の策定にかかる第3回審議会です。

前2回の審議会では出された意見を反映した①重点計画、②基本施策、③地域計画の素案(概要と本編による)が示されました。会長(宇都宮大学特任教授秋山満氏)から「令和7年産米の在庫の積み増しが最大になり、価格が下がることが懸念されている。農業の担い手の確保が急務であることを踏まえ、栃木県農政の次期計画を検討してほしい」との話がありました。

基本方針に、10年後の将来像「担い手と地域が元気に輝く栃木の農業」を掲げ、3つの重点戦略と、「持続力」「収益力」「農村活力」を基本目標とした9つの重点プロジェクトにより、成果指標と取組指標が設定されます。

委員からは、スマート農業の推進による効率化、大規模化だけでなく中小農家や中山間地農家を支援、有機農業の推進、SNS活用、統一ロゴの活用、地域の既存グループとの連携、耕畜連携による飼料米の確保等、多岐にわたる意見が出されました。

今回を踏まえた検討・調整ののち、パブリックコメントを募集、来年1月に答申、3月に公表予定です。

- **10月20日(火) 宇都宮市食品安全懇話会**

食品安全行政の対策や食品安全確保に係る方針・計画等に対して検討し、施策に反映させ、食品安全行政の円滑な推進を図ることを目的に開催されました。第4次宇都宮市食品安全推進計画（令和6年度～令和7年度）における令和6年度の取り組み状況や結果、目標値の変更について説明がありました。生産者への生産履歴記帳の確認指導や食べ残し持ち帰り促進ガイドラインに沿った啓発状況、小学生を対象にした正しい手洗い教室の開催が減少し未達成に終わったこと等について質疑や要望が交わされました。また、毎年2月に発生件数がピークとなる、ノロウィルス食中毒対策についての報告がありました。

- **10月28日(火) 令和7年度宇都宮市消費生活講演会**

■講 演：「明日の地球を救うため、消費者にできること グリーン志向消費」

～わたしたちの身近なみどりについて考ええること～

■講 師：有限会社 とちぎ園芸 代表取締役 富久田美千代 氏

植物がもたらす恩恵や植物の効能・植物の力、植物の生き様、日本人の植物に対する国民性など、面白い視点から講演を頂きました。結びに、地球や人に不可欠な植物を守るために、出来ることを考え行動することが、グリーンコンシューマー活動やエシカル消費に繋がると話されました。

3. その他

- **10月11日(土) 核兵器も戦争もない世界を求めて～記憶を受け継ぎ未来へ～**（オンライン）

2024年ノーベル平和賞を受賞した日本被団協から、受賞報告と被団協運動のあゆみについて報告がされ、朗読劇「そこに声があれば～今、未来に～」が演じられました。その後、①被団協の活動や被爆者の証言などから学んだこと、②日本政府の「原爆・戦争被害受任論」の立場を克服するためにどのような活動をしていくか、③被爆者がいなくなる時代を目前にして核廃絶に向けてどのような活動を進めるのか、について10団体が登壇し、フリートークが開催されました。80年間、核兵器のない世界の実現に向けた活動と、目撃証言を通じて核兵器は二度と使用されてはならないことを示してきたことが評価され、ノーベル平和賞を受賞したこと、これらの行動を継承することの重要性等について、改めて考える場となりました。

- **10月20日(月) 第4回地域生協部会**

＜出席：よつ葉生協、とちぎコープ生協、生協^ほんシステム茨城 栃木、生協^ほんシステム群馬、こくみん共済coop＞

4回目となる地域生協部会を開催しました。出席した地域生協が「2024年度の報告と2024年、2025年上期に取り組んだ事例」について報告を行い、こくみん共済からは、「C00P共済 ありがとうの声」と「C00P火災共済・自然災害共済・マイカー共済 2025年度上期状況と下期課題」について報告がありました。また、今年の夏季休暇について各生協の報告を受け、意見交流を行いました。

- **10月23日(木) 2025国際協同組合年 栃木県実行委員会 第6回検討会**

7月4日(金)に開催した、国際協同組合年記念フォーラムの結果と評価をもとに、2025国際協同組合年 交流会の持ち方について検討しました。また、2026年度以降の協同組合間連携の進め方について、各団体から挙げた意見をもとに検討を行いました。

● 10月31日(金) 日本生協連 中央地連 関東甲信越行政生協関係者連絡会

関東甲信越の行政担当者及び県生協連関係者が集い、各県の連携した活動報告と今後連携できることを交流する連絡会

- 消費者庁 講演 「明日の地球を救うため、消費者にできること グリーン志向消費」
- 日本生協連報告 「持続可能な社会の実現を目指した 全国の生協の社会的取り組み」
- 学習講演 「適格消費者団体の活動と課題」～新潟の現場から～
- 分散会 「生協と行政で連携してできること」

● 10月 6日(月)第5回 クリーンアップ・ウォーク（定期ゴミ拾い）

地域への環境活動として、県連事務所付近と県道64号線から宇都宮駅東口付近までのエリアでゴミ拾い活動を行いました。（午前中実施）

<目的>

- (1) 環境美化保全
- (2) プラスチックごみの海洋への流出を防ぐ、生態系配慮
- (3) リサイクル可能ゴミの有効活用、CO2排出削減

ネットワーク活動

1. とちぎ食の安全ネットワーク

● 10月 2日(木) 第4回とちぎ食の安全ネットワーク世話人会

1. 学習会「HACCPの義務化：輸入食品の違反や食中毒発生への効果は？」
講 師：宇都宮大学名誉教授 宇田 靖 氏
2. 9月30日（火）開催 第2回とちぎ食の安全ネットワーク学習会アンケート結果について
3. 各団体からの活動報告、その他参考資料

2. とちぎ消費者ネットワーク

● 10月 消費者カレッジ開催

開催日・開催校	講師	演題	人数
10月16日(木) 作新学院大学 栃木地域政策研究 a	とちぎ消費者ネットワーク 代表 山田 英郎 氏	インターネット時代を拓く若者の玉手箱 ～若年成人が巻き込まれがちなインターネットの落とし穴。その入口が「SNS」からです。	26 名
10月16日(木) 作新学院大学 スポーツマネジメント学科	とちぎ消費者ネットワーク 代表 山田 英郎 氏	デジタル時代のSNSをきっかけとした契約トラブル ～「バイト・副業」、「美=エステ」、「サブスク」等の契約トラブル～	79 名
10月16日(木) 作新学院大学 経営学科	とちぎ消費者ネットワーク 代表 山田 英郎 氏	デジタル時代のSNSをきっかけとした契約トラブル ～「バイト・副業」、「美=エステ」、「サブスク」等の契約トラブル～	107 名
10月28日(火) 栃木県立小山北桜高等学校	皐月法律事務所 弁護士 荘司 円香 氏	－消費者トラブルを回避するために	128 名

栃木県生協連 2025 年 11 月度、12 月度の活動予定

2025 年 11 月 5 日(水)

2025 年 11 月度予定	
4 日 (火)	第 4 回 とちぎ消費者ネットワーク幹事会
5 日 (水)	消費者カレッジ (作新学院高等学校)
6 日 (木)	～8 日 (土) 第 6 回 沖縄戦跡視察研修
10 日 (月)	消費者カレッジ (作新学院大学短期大学部) 栃木県包括連携協定交流会
11 日 (火)	第 3 回 常務理事会
12 日 (水)	クリーンアップウォーク
15 日 (土)	消費者(金融)カレッジ (宇都宮短期大学附属高等学校)
18 日 (火)	宇都宮市中央卸売市場運営協議会
19 日 (水)	消費者カレッジ (國學院大學高等学校)
25 日 (火)	日本生協連 中央地連運営委員会 日本生協連 県連活動委員会
27 日 (木)	下請法学習会
2025 年 12 月度予定	
2 日 (火)	MCA無線訓練
3 日 (水)	消費者カレッジ (國學院大學短期大学)
4 日 (木)	第 5 回 とちぎ食の安全ネットワーク世話人会
9 日 (火)	消費者教育フェスタin栃木
10 日 (水)	第 3 回「見える化」みどりの食料システム戦略勉強会
16 日 (火)	関東農政局との意見交換会
23 日 (火)	第 4 回 定例理事会・監事会

栃木県生活協同組合連合会